



国民の生活が第一
生活の党
— People's Life Party —

PRESS タックル 第5号

平成 26 年 4 月号

討論資料

平成 26 年
(2014)

6月29日

杉並区長・
杉並区議補欠
選挙です。

杉並区政にタックル!

みんなで作ろう「ふるさと杉並」

こういち

松本 浩一



<http://matsumotokoichi.web.fc2.com/>



@Matsumoto_501



<https://www.facebook.com/matsumoto501>

杉並区議会議員補欠選挙、生活の党公認予定候補者の松本浩一さんは、杉並区内各地を駆け巡り、皆さんの声を聞き、対話を続けています。

「ラグビーの精神である『One for all, all for one』は、一人ひとりが自立し、互いをサポートしながら、目標に向かっていくという実践を意味しています。地方自治はその『一人はみんなのために、みんなは一人のために』というお互い様の精神の中で、身近な政治を実現していかなければなりません。」

こう語る松本浩一さん。皆さんの声なき声を聞き、その声を直接くみ上げていき、政治に反映していく為と、地域の目指す具体的な政策もまとめました（裏面を参照にしてください）。

皆さんが「杉並に生まれてよかった」「杉並区に貢献したい」と思える杉並区を作り出し、安心安全な生活、地域の健全な経済活動を活発におこなえる「ふるさと杉並」を一緒に作っていきましょう。

→裏に続きます。

松本浩一のプロフィール

- ◇昭和 56 年 2 月 14 日生(33 歳) 広島県出身
- ◇平成 12 年 NHK学園高等学校(通信制)卒業
- ◇平成 16 年 早稲田大学社会科学部入学
- ◇早稲田大学ラグビー蹴球部入部。上井草グラウンドで「文武両道」を成し遂げるため精進する。
- ◇清水建設ブルーシャークス(当時ラグビートップイースト)入部
- ◇平成 20 年 早稲田大学社会科学部卒業
- ◇平成 20 年 有限会社バイン入社 常務取締役 就任(家業です)
- ◇平成 25 年 9 月 小沢一郎政治塾 12 期 卒業
- ◇平成 26 年 4 月 生活の党 公認決定

どんな地域活動をしているの?

杉並消防団第四分団団員 / 杉並光友会(杉並区原爆被爆者の会)幹事 / 杉並区内で少年野球チームやタグラグビー教室のコーチも / 挨拶だけではなく体を動かし、汗をかいて地域に貢献

松本浩一さんの趣味は?

ラグビー ラグビー試合鑑賞 筋トレ 料理
・NTT日比谷ラグビー部所属

<http://ameblo.jp/matsumotokoichi/> (ブログ更新中!)

平和を壊す輩に物申す

松本浩一 五つの課題にタックル!



声なき声を伝える福祉をサポート

- 介護される側だけでなく、介護する側への支援をすすめる
- 若くても、家族でも一緒に入所できる地域連帯型福祉住宅を検討する
- 高齢者施設や地域の医療機関との連携で助け合う地域福祉を実現する



子供たちと先人たちがパスをつなげる教育を

- 今、消えつつある過去の記憶を継承する平和教育を推進する
- 働く現場・ものづくり・職業を学び労働とは何かを考える教育を推進
- 地域の歴史を学ぶ地域教育・生涯学習・スポーツ振興を推進

杉並を住み良いグラウンドに

- 高齢者・障害者でも移動しやすい道路・公園緑地・避難場所でもバリアフリー化
- 秩序ある街作りで車いすでも移動しやすい杉並へ
- 防災対策・行政による平時からの見回りの強化



住民とスクラムを組んで地域主権を実現

- 地域に必要なものを、地域で決められる住民参加を推進
- 地域のことは地域が一番知っている、地域の問題をくみ上げる「地域限定目安箱」を創設
- 制度や施設の作りっぱなしを止め、アフターサービスのある政治・行政を

無駄な予算にペナルティー、予算組み替えを

- 予算を通すだけでなく、何に使われ適切な予算だったかを監視し、予算の無駄を切る
- 福祉や教育、防災等、必要なところへ必要な予算を組み替えていく
- 無駄の削減・予算の組み替えで、区民税の減税、より良い行政サービス推進

私たちが、松本浩一さんを応援します。



衆議院議員
生活の党代表

おざわ いちろう
小沢 一郎



元衆議院議員

あずま しょうぞう
東 祥三

松本 浩一事務所
〒166-0003 東京都杉並区
高円寺南 4-5-6-5D
Tel&Fax 03-5377-4173

メール
matsumotokeichi501@gmail.com
ホームページ
<http://matsumotokeichi.web.fc2.com/>